



アフリカンマルシェ

&

特別講座

報告書

2022・7・31

JICA 地球ひろば

コロナ禍のアフリカ生産者を緊急支援

アフリカンマルシェ&特別講座

アフリカのアート・ファッション・生活の今が分かる

タンザニア発アーティスト・職人たちととりくむ

ボーダレス時代の新たな価値創造

アフリカ理解プロジェクト

コロナ禍のアフリカ生産者を緊急支援 アフリカン・マルシェ

&特別講座「アフリカのアート、ファッション、生活の今がわかる！」

タンザニア発 アーティスト、職人たちと取り組む

ボーダレス時代の新たな価値創造

報告書

日時： 2022年 7月31日(日)

マルシェ 12:30~16:30(日本時間) 対面販売

特別講座 14:00~15:00(日本時間) 対面参加、一部タンザニアとのオンライン中継あり

会場：JICA 市ヶ谷地球ひろば(マルシェ：201AB/特別講座：202B)

中継地：タンザニア・ダルエスサラーム ティンガティンガ村/ オンライン中継(ZOOM)

コロナ禍のアフリカ生産者を緊急支援
アフリカン・マルシェ 参加特典付 特別講座 同時開催

開催日 7月31日(日)
午後 12時30分~4時30分
JICA市ヶ谷地球ひろば

ART
ティンガティンガアート

TEXTILE
アフリカの布
カンガ・キタング・アジャンブント・
エチオピア織布・手づくり服 etc.

BOOK
書籍
アフリカのアート・ファッション・教材
アフリカ料理の本・コーヒー伝説

HANDMADE
手づくり雑貨/アクセサリー
手織りスカーフ/ショール

タンザニア・エチオピア生産者と
パートナーで開発した商品など、
ここでしか購入できないオリジナル
の物産を出品します。

ティンガティンガアート作品
ARTIST: CHITURAI

入場無料

主催：アフリカ理解プロジェクト | お問い合わせ：events@africa-rikai.net |

アフリカのアート・ファッション・暮らしの今がわかる！
特別講座 マルシェと同時開催
【タンザニア発】
**アーティスト・職人たちと取り組む
ボーダレス時代の新たな価値創造**

ティンガティンガアーティストやアフリカ布の染色グループ、縫製職人、映像クリエイターたちとともに、コロナ禍にオンラインでアフリカと日本をつないで取り組むユニークな生産者支援を紹介、アフリカの今を知りたい人、アフリカでビジネスを考えている人、国際協力や青年海外協力隊をめざす人、日本の地域活性化に取り組みたい人、"世界中どこでも活用可能なボーダレス時代の新たな生産者支援の取り組みのヒント"を提供します。講座内で、一部タンザニアとのライブを予定しています。

※ 同時開催の「アフリカンマルシェ」で、開発商品を直接購入できます。

日時 7月31日(日) 午後2時~3時
会場 JICA市ヶ谷地球ひろば
参加費 ¥1,000(当日払い:参加特典付き)
募集 20名(先着順)

【申込み方法】
右のQRコード、または下記の申し込みリンク
からお申し込みください。
<https://forms.gle/TJ5zhtDLYFauNvayZ>

参加特典：ティンガティンガアート実習キットをプレゼント
実習キットには、ティンガティンガコースター1枚(写真)・編み方の説明書・同業集が入っています。

ティンガティンガアーティスト組合 キボング二村女性染色グループ マラケシファッション工房

主催：アフリカ理解プロジェクト | お問い合わせ：events@africa-rikai.net

約2年半ぶりに、対面イベントをJICA市ヶ谷地球ひろばで開催しました。コロナ禍のアフリカ生産者を支援するマルシェと特別講座(アフリカ理解プロジェクトがコロナ禍で実施してきた講座の報告会)をタンザニアのティンガティンガ村のライモンド氏とつなぎオンラインで実施しました。

コロナ禍のアフリカ生産者を緊急支援 アフリカン・マルシェ

マルシェは記録的な猛暑のなかでの開催でしたが、予想以上の人が出がありました。地球ひろばの見学者、他講座の参加者なども訪れ、会場内にお客さんが途切れることはありませんでした。

コロナ感染対策として確保した広い会場には、エチオピアやタンザニアの生産者の手づくりのファッションアイテム、カンガ、キテンゲ、バティックなどのアフリカ製の布、タンザニアを代表するティンガティンガアートなどが並び、訪れた人は商品をひとつひとつ興味深く手に取っていました。会場のあちこちから、「この布で洋服を作りたい!」「このティンガティンガのアルミカップ、かわいい〜!」の声、開発商品への質問もたくさんありました。訪れた方々は会場を去りがたい様子で、久しぶりの対面イベントを大いに楽しんでいました。

ご来場者のみなさん、ご来場ありがとうございました。いただいたフィードバックは今後の商品開発や品質改善につなげていきます。



ARP 出版の教材や書籍



商品の説明を聞く来訪者



タンザニアを代表する「ティンガティンガ」



アフリカ生産者サンプル



タンザニアのサンプル商品



アフリカで生産されたの布

特別講座「アフリカのアート、ファッション、生活の今がわかる！」

タンザニア発 アーティスト、職人たちと取り組むボーダレス時代の新たな価値創造」

14 時からは隣のセミナールームで、これまで 2 年半のコロナ禍でのアフリカ理解プロジェクトの活動を「タンザニア発 アーティスト、職人たちと取り組むボーダレス時代の新たな価値創造」と題し、スライド、現地で撮影した映像、タンザニアとのライブ中継を交え、特別講座を開催しました。



オリジナルアートキット

参加者特典として、ティンガティンガアーティストの手描き木製コースターとティンガティンガの描き方の説明書、ティンガティンガイラスト図案集、キリンの枠線つき実習カードをセットにした、ARP オリジナル「ティンガティンガ実技キット」をプレゼントしました。

《プログラム》

● 《導入》商品開発プロジェクト「新しい取り組み」

・ARP 代表白鳥くるみからのあいさつの後、講座の臨場感を体験してもらうため、ライモンド氏とライブをはじめました。レイモンド氏のカメラでティンガティンガ村のなかをアーティストに「マンボー（元気？/こんにちは!）」「ポアー（はい、いいです）」とスワヒリ語であいさつをしながら巡りました。ティンガティンガの制作工房からのライブは、参加者の関心をとても惹いていました。



エチオピアの生産者をカテゴリー
分けて説明する講師：白鳥くるみ

・ライブ中継のあとは自己紹介時間を設け、講座に参加しようと思った理由などをお話いただきました。

旅行や仕事などで行ったことがある方、留学などでタンザニア行く予定がある方、行ったことはないけれどコーヒーが好きなので興味を持った方など、参加者それぞれが様々な想いで参加されていることが分かり、なごやかに講座がスタートしました。

・講座の導入部分は、エチオピアをベースとした商品開発プロジェクト（CHEP）と特別講座の趣旨説明がありました。

・これまで CEHP が関わってきた生産者を3つのカテゴリーに分け、現地の生産者の状況を整理して説明し、どの段階のグループにおいても、共通している課題はマーケットが小さく、商品の認知度が低いことをあげました。

・コロナ感染症や紛争によりアフリカの生産者支援が困難な現状のなか、オンラインを使った「新しい形のマーケットづくり」を始めたこと。この活動のなかで、アフリカ文化やハンドメイド製品の認知度向上を目指していることなどを説明しました。

● 《本篇》タンザニア発「アーティスト、職人たちと取り組むボーダレス時代の新たな価値創造」

・「オンラインを活用した生産者支援の取り組み方」「アフリカでの生産者支援における課題」など、参加者が期待するトピックスを中心にお話しました。

- ① 日本基準の品質をめざす技術や商品管理支援
- ② タンザニア国内でのマーケットを広げる支援
- ③ IT を活用した国境を越えたビジネスをめざす支援
- ④ 生産者と消費者が「SDGs つくる責任、つかう責任」を果たす支援。商品の製作工程や背景にあるストーリーを重視し、新たな価値観を消費者に提供する支援

以上4点を、「私たちにできること」として話を締めくくりました。

● オンライン生産者支援の成果（タンザニアとのライブ中継で）

・ティンガティンガアーティストのライモンド氏に、オンライン講座を始めてどのような変化があったかをライブで質問しました。



タンザニアの生産者支援のリアル
を説明する講師：渡邊友美



ライブ中継：アーティストのライモンド氏

ライモンドさん談話：コロナ禍でタンザニアの観光業は大きな打撃を受けました。私たちのアート作品も、観光客はまったく来なくなり、顧客だった在住外国人もつぎつぎと本国に引き上げ、販売の機会を失いました。何年もつづいているコロナ禍で、アーティストは収入源を失い、みな苦境に陥っています。

そんななか 1年半前から ARP の支援を受けて、初めてオンライン講座にチャレンジしました。スタートした時は、ライブ中継でスマホなどの機器の操作が難しかったし、アーティストたちは何をしているかわからず、理解を得られませんでした。講座を通じて作品が売れるようになり、今ではみな喜んで協力しています。こういうやり方で絵が売れることが分かり、みな興奮しています。タンザニアにいな

が、日本のみなさんとつながったことは大きな支えになりましたし、こういうやり方を学んでいきたいです。

● 参加者からの質問

Q ティンガティンガのキャンバスに最初に塗っている白い色は何か？

→ボンドに白の水彩絵具を混ぜて塗っています。乾いたら、やすりをかけて綺麗にし、下地を作っています。

Q 京都にある西アフリカの方のアトリエでは全く型紙なしでカットしていく。今回のイベントで制作されているエコバックも、型紙なしで制作しているのか？

→はじめは型紙なしで制作していましたが、毎回異なったサイズの製品になったため、最近は型紙を利用するようにしています。

Q アフリカの方の感性で作るのもよいが、日本で売れにくいという実態があると思う。現地の方の感性の活かし方など、工夫している点があれば知りたい。

→デザインはあまり口出しをしないようにしており、彼らの感性による色の組合せやデザインを採用しています。ただ、販売に際して、日本で売るためには品質は重要であるため、品質は日本準拠になるようにしています。

→また、現地にもともとある技術を活かして、アクセサリー等、お土産品などの新たな商品開発を行い、拡大・収益に繋がる改善へのアドバイスを行っています。

→よい質問だと思います。現地の方の感性を生かしながら、日本（世界）で売れるものにするというのは、理想的だが現実としては難しい。私たちもそこで悩んでいる。私自身はアフリカの生産者が作るもののストーリーを通じて、消費者教育も必要だと思っている。

Q 商品を開発するときは、国外でアイデアを出すのか？

→支援するグループの状況を踏まえ、対応しています。例えば、生産者の貧困を削減するという目的なら「ハンドメイド」の販売にとらわれず、販売で得た収益を基に日銭が稼げるプロジェクトを立上げ安定収入につなげました。（私たちの例：エイズ陽性者女性グループにハンドメイドの技術と販路を支援。その収益を元にインジェラ機を購入し安定した収益を得ることに成功している。）

Q ARP の活動に参加し、自身が考える支援などを実現することはできるのか？

→できます。サポーター登録をしていただき、イベントボランティアなどをしながら活動に参加してもらおう（コロナ禍で対面が少し難しくなっていますが）そのなかで自身のアイデアを相談する機会があります。

また ARP は 2 年前から「募集型企画支援」を始めています。ご自身にすでに具体的なアイデアがあればこちらへの応募もご検討ください。

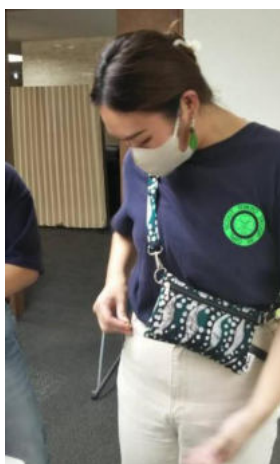
ARP が支援した商品の一部を展示・販売



特別講座の会場には、ARP が商品開発を支援した商品を展示しました。

ひとつひとつの商品にストーリーがあり、今回は全部を紹介しきれませんでした。 (エチオピアのコーヒー豆のストラップやかごを編む技術を生かしたピアスの製作ストーリーなどを紹介しました) 実際に手にとって見ていただくことで、ARP の生産者支援について、より理解を深めてもらうことができました。

タンザニアの生産者「マテレカン」を身に着けてくれた参加者とガールスカウト 36 アフリカチーム



コロナ禍で対面でのイベントがすべて中止になり、模索しながらも、いち早く始めたオンラインでのセミナー・講座やイベント。予想以上の成果と可能性がみえてきました。その成果を今回、参加者のみなさんと対面で共有することができました。



ARP のスタッフ（協力隊 0V）とガールスカウト 東京都 36 団アフリカチーム

同時開催したマルシェでは、実際にアフリカの商品を手に取りながら、商品開発のエピソードなどをお話することができました。

参加者のみなさんにはひと時、アフリカの空気を感じていただけたのではないのでしょうか。

またこのような対面でアフリカの商品をお届けできる機会を作っていきたいと思います。

参加して下さったみなさま、ありがとうございました。